

令和6年度 名桜大学公開講座報告書

講座名	東屋部川ナイト・カヌー探検
申請者氏名	新垣裕治
講師名 (所属機関)	なぐまさーの会 (カヌーガイド)・新垣裕治 (名桜大学国際学群)
日時	令和6年7月6日(土) 18:30-20:30
講座の概要 及び所感	<p>午後6時半に集合場所になっている「緑のネットワーク公園」で講座を開始した。なぐまさーの会にカヌーの乗り方や下り方、漕ぎ方(パドリング)の指導及び安全管理の方法について説明をして頂いた。その後、屋部川へカヌーを下ろし一組ずつなぐまさーの会の補助を得てカヌーに乗り込み川へ漕ぎだした。</p> <p>参加者全員がカヌーに乗船してから、東屋部川の上流の「白銀橋」へ向かって漕ぎ進めた。初めてカヌーに乗る参加者も多く、初めてのカヌーの感触を満喫している様子であった。途中、河川の生き物の自然解説を聞きながら、また、操船の指導を受けながら「白銀橋」へ漕ぎ進んだ。</p> <p>途中、護岸の草刈をしてサガリバナやプリメリアを植栽している場所があり、この時期に開花の盛りを迎えるサガリバナの説明をした。ここには、通常見られるサガリバナに加え、希少な赤色の花を咲かせるサガリバナもある。</p> <p>「白銀橋」の近くの川幅が狭まっている川筋には、メヒルギやオヒルギのマンダローブやヒメガマ等の植生等がある。ここでマンダローブや干潟の生き物についての説明をした。</p> <p>「白銀橋」手前で折り返し、屋部川の下流へ向かって移動をした。昨年、下流側のマンダローブの繁茂する中州は河川浚渫の為に全て取り除かれたので、カヌーを下ろした「緑のネットワーク公園」へ戻り、講座参加者にカヌーを公園まで引き上げるの手伝ってもらい、今回の講座を終えた。</p> <p>今回、途中で参加者の乗っているカヌーが浸水をしてしまい、カヌーを取り替えた。水没を想定はしているが、初めてのケースであった。</p>
参加人数	16名

